

すぷりんぐ

会報 通算第15号 2018年12月発行

代表からの会報ごあいさつ

代表 牧野准子



いよいよ雪の季節になりました。今年の暦も残り僅かとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は、さほど暑くもなく過ぎてしまった様に感じます。また、台風や地震など大変な被害を受け、今まで経験をしたことのない不安な思いを過ごされたこととお察しいたします。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年(会報 12号でも報告)『障がいのある方の災害への備え』について、札幌市障がい福祉課の職員さんからお話を頂きました。備えあれば憂い無しといいますが、実際に災害が起きるまでは実感がなく、完全な備えをしていた方は少ないのではないのでしょうか。

経験して初めて分かったことがあります。障がい当事者講師の会すぷりんぐでも、会員さんからの体験談とアンケートを集め、記録として残すことにいたしました。これを基に、今後の教訓にして行ければと考えます。

自分の身を守るためには、地域と関わり自分の存在を知ってもらうことも大切なことです。ご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。

今回、会員の青木洋子さんが地震の体験を漫画に描いて提供してくださいました。彼女の場合の感じたことをリアルに表現しています。障がい者理解につながればと思います。(11.12ページ掲載)

今年、最後の会報になりました。皆さん、お体に気をつけてよいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願いたします。

🌸 H30.9.6 地震を経験してのアンケート～結果報告～

1. 障がい種別の内訳。(重複の方はいくつも○をつけて頂きました。)

身体 17 視覚 3 聴覚 1 知的 4 自閉症 3 精神 8
心臓 4 腎臓 1 呼吸器 3 てんかん 2
その他 3 (難病、膀胱、化学物質過敏症) 障害なし 4
合計 41名

※尚、集計の都合上①身体②精神(精神、知的、自閉症、ADHD)③内部(心臓、腎臓、呼吸器、てんかん、難病、膀胱、化学物質過敏症)④視覚 ⑤聴覚と分類させていただきました。

2. 地震直後にしたことは、何ですか。

- ・(家の中で)安全な場所に移動した 3 (身3)
- ・外に出た 1 (精)
- ・テレビをつけた 8 (身5 精神7 内2 視1)
- ・動かなかった(動けなかった) 22 (身11 精7 内2 視1)

3. 家の中の状況はどのようになりましたか。

- ・家財道具が倒れた 3 (身1 精2)
- ・物が落ちて壊れた 13 (身6 精4 内1 視1 聴1)
- ・あまり変わらなかった 20 (身9 精5 内3 視3)

4. ケガはしませんでしたか？

全回答の中でケガをした人は1人でした

5. 同居している人はいますか？

- ・いる 20 (身8 精7 内3 視1 聴1)
- ・いない 13 (身6 精4 内1 視2)

6. 支援、または助けてもらう人がいましたか

- ・いた 19 (身体11 精5 内1 視1)
- ・だれもいなかった 9 (身2 精4 内1 視1 聴1)

※いた方は、どんな方ですか

全回答の中で 家族が10 隣人1 友人2 ヘルパー1

7. 間もなく停電しましたが、暗い中、どうしましたか？

- ・懐中電灯などを点けた 19 (身11 精5 内1 聴1)
- ・ろうそくをつけた 8 (身2 精4 内1 聴覚1)
- ・何もしなかった(なにもできなかった)

8. 夜が明け、明るくなってから何をしましたか？

- ・家にいた 20 (身9 精6 内4 視1 聴1)
- ・家族の家や避難所などに移動した 5 (身2 精1 内1 視1)
- ・仕事に行った 4 (身3)

9. 地震後の色々な情報を何で得ましたか？

- ・(乾電池式) ラジオ 24 (身11 精4 内1 視2)
- ・携帯電話のメールや SNS 3 (身2 精2)
- ・情報を得られなかった 1 (身)

10. 水、食品などの備えはありましたか？

ほぼ全員があった。(なかったと回答したのは1人)

11. 日常的に処方された薬を飲んでいますか？

- ・はい 32 (身12 精10 内3 視3)
- ・いいえ 4 (身3)

12. 保険証や処方せん(おくり手帳)はどのように保管していますか？

- ・すぐ持ち出せるようにしている 19 (身11 精5 日 内部1 視1 聴1)
- ・急な際どこにあるか分からない 4 (身3 内1)

14. ヘルプマークを持っていますか？

- ・はい 23 (身9 精7 内2 視1 聴1)
- ・いいえ 17 (身11 精4 内1 聴1)

15. ヘルプカードに必要事項を記入していますか？

- ・はい 11 (身3 精4 内2 視1 聴1)
- ・いいえ 17 (身11 精4 内1 視1)



【記述回答は以下の通りです】

※障がい種別ごとに抜粋して掲載させていただきました

■身体障がい

障がい等級 一種1級 6人 2級 9人 3級 1人
障がい名 両下肢障がい 3人、頸椎損傷 2人
右上肢機能全廃、HTLVI 関連脊髄症、軟骨無形成症
脳性まひ、脳出血、下肢損傷、脊髄損傷、
筋ジストロフィー症、ウエルドニッヒホフマン病

① 地震直後にしたことは何ですか？

- ・少し様子を見てから車いすに移動し、スマホのライトで懐中電灯を探した
- ・真っ暗で動くことができなかった
- ・外に避難できるようにリュックの準備をした
- ・子供をかばった

② 家の中の状況は、どのようになりましたか？

- ・食器が割れたが停電で掃除機が使えず、後かたづけが大変だった
- ・ペットが隠れた
- ・本棚が倒れ、食器が割れて散乱した。足の置き場がなく呆然とした

③ 日常的に飲んでいる薬がなかったら、どんなことが困りますか？

- ・喘息発作の可能性ある 2人
- ・ステロイド剤が無かったら、身体が変調をきたす
- ・インスリン、抗インスリン中和剤がなければ、死亡の恐れ

- ④ 災害が起きた時にあなたの必要な配慮は何ですか？
- ・ 電動車いすなので、バッテリーのセット、ドアの開閉、階段などの補助。また、バッテリーの充電。など同様の記述が 5人
 - ・ トイレの使用が困る、トイレカーが欲しい 2人
 - ・ 気管を切開している。睡眠時のバルブは呼吸しやすいように大きい穴があるので声が聞き取りにくい
 - ・ 避難の際の、誘導
 - ・ 停電になり、SOS 発信の方法が皆無。障がい者、高齢者に状況を伝えて欲しい
- ⑤ 地震が起きて困ったことがあれば、お書きください。
- ・ 停電による、携帯電話の充電がこまった、ラジオが無かったなど同様の記述が 4人
 - ・ 電動ベッドが使えなかった、
 - ・ 避難所に一人でいけるか不安、また介助犬は無理な様子
 - ・ 停電でエレベーターが動かず、外出できなかった
 - ・ 停電したので、たんの吸引にバッテリー式を使おうとした
 - ・ 地下鉄が止まったので、ヘルパーさんが来られず一人ではどうすることもできなかった
- ⑥ その他ご意見、ご感想などご自由にお書きください
- ・ 近所の方が安否確認に来てくれて心強かったなど同様の記述が 4件
 - ・ 札幌市ホームページに福祉避難所の情報が全くなく不安でたまらなかったなど同様の記述が 3件（しかしペットと一緒に避難 OK との情報があり違和感があった）
 - ・ 障がい当事者団体でも、災害時の対応について話し合ったことがなく連絡網もない。安否確認の方法がなく、とにかく不安だった。（※すぷりんぐでは勉強会開催）
 - ・ 冬でなくてよかった、ブラックアウトなど予想もしなかったなど同様の記述が 2件
 - ・ 江別では車いすで一人暮らしの方には、民生委員が安否確認にきてくれたそうです。
 - ・ 当日の朝にも新聞が配達され、ゴミ収集もあり努力してくれている人に励まされた。
- ⑦ 障がいをお持ちの方のご家族や、介助者の方のご意見ご感想、困ったことなどをお書きください。
- ・ 停電でヘルパーさんに来てもらえず、困った。家族がいたので良かったがいなかったらと思うとゾッとする。
 - ・ 介助者の両親が高齢なので、いざというときの対応が大変だ
 - ・ 福祉避難所の情報について、踏み込んだ学習が必要だと実感した。防災用品を実際に手に取って学ぶ学習会がほしい、と感じた。

■精神障がい

障害等級	2級 6人	3級 2人	療養手帳 B-	4人
障がい名	広汎性発達障害	3人	知的障害	2人
	ADHD	2人	うつ病	2人
	双極性障害	2人	自閉症	1人
	パニック障害	1人	統合失調症	1人

① 地震直後にしたことは何ですか？

- ・布団から出られずじっとしていた など同様の記述 3件
- ・物が倒れる音、落ちる音、割れる音がして大変だった
- ・家具が真横に倒れてきて恐怖を感じた
- ・玄関に近い部屋に移動した
- ・入院中だったが、許可を得て車いすの知人のところにいった

① 日常的に飲んでいる薬がなかったら、どんなことが困りますか？

- ・睡眠障害になる（パニック状態になる） など同様の記述 3件
- ・不安になって→耳鳴り、頭痛、てんかん、喘息発作の心配があるなどの症状が出るとの記述 それぞれ1人ずつ
- ・かゆくなって、生活や仕事に集中できなくなる

② 災害が起きた時にあなたの必要な配慮は何ですか？

- ・ハザードマップや福祉避難所の情報
- ・避難所などで大勢の人に囲まれると、体調不良になるので静かな場所がほしいなど）など同様の記述 3件
- ・体力が無いので物資援助に並べないことが不安
- ・不安を抑えられないので、話を聞いたり、優しくしてほしい
- ・助けて と、意思表示できるカードがあったらいいと思う
- ・災害が大きければ大きいほど、自分の身は自分で守るほかありません。他人もまた自分を守るために精一杯なのです
- ・障がい児の母ですが、オムツが、ベビーサイズと大人サイズの間なので探すのが大変、また薬が飲めないと騒いで脱走などしないように助けて欲しい

③ 地震が起きて困ったことがあれば、お書きください。

- ・停電による、携帯電話の充電がこまった など同様の記述 3件
- ・どうしてよいかわからなかった
- ・夫が出張中で、子どもを連れての買い物が難しかった（子どもも発達障害）

④ その他ご意見、ご感想などご自由にお書きください

- ・避難場所がわかる支援者に迎えに来てもらい、避難所まで連れて行ってほしい
- ・近所に避難所があり、食事や寝床は困りませんでした。
- ・グループホームで食事の配給があったので助かりました
- ・発達障害のある友人が、自分も困っているのに何度も様子を見に来てくれて物資援助もくれて、何より声を掛けてくれてありがたかったです
- ・地域の方が色々情報をくれて助かりました、その点自分はなにもしてあげられなかったです

⑤ 障がいをお持ちの方のご家族や、介助者の方のご意見ご感想、困ったことなどをお書きください。

- ・今回は、夜中だったので自宅にいたが、日中ならどうやって帰宅するか又は、避難経路などを考えておかなければならないと、痛感した



■内部障がい

障がい等級 一種 1級 3人

障がい名 心臓機能障がい アスピリン喘息 化学物質過敏症

- ① 地震直後にしたことは何ですか？
 - ・ 寝室から、安全な廊下へ移動した
 - ・ 揺れがおさまるのを待って、ラジオなどで情報収集した
- ② 日常的に飲んでいる薬がなかったら、どんなことが困りますか？
 - ・ 血栓ができやすくなり命にかかわるなど同様の記述 2件
- ③ 災害が起きた時にあなたの必要な配慮は何ですか？
 - ・ ヘルプマークを避難所に持参しても周囲に理解されないかもしれないので不安になった
 - ・ 化学物質過敏症で、柔軟剤、消臭剤にアレルギー反応が出るのでそれを使用している人と同じ場所に長時間いるのが難しい
- ④ その他ご意見、ご感想などご自由にお書きください
 - ・ 予備の薬をすぐ持ち出せるようにしていなかった、それを教訓に常に一週間程度の薬を持ち歩くようにした
- ⑤ 障がいをお持ちの方のご家族や、介助者の方のご意見ご感想、困ったことなどをお書きください。
 - ・ 家族に病人がいると。常に病院のこと、薬のことが気になる
 - ・ 札幌市は、色々な声が町内会から上がってくると動ける仕組みだそうなので障がい者は、町内会との連携が必要と実感した

■視覚障がい・聴覚障がい*

障がい等級 視覚障害 1級 3人

- ① 地震直後にしたことは何ですか？
 - ・ 食器が割れて散乱したので、動けなかった（視覚）
 - ・ 家の周りを確認するため、見回した（聴覚）
- ② 災害が起きた時にあなたの必要な配慮は何ですか？
 - ・ 夜の灯りの準備、安否確認
- ③ その他ご意見、ご感想などご自由にお書きください
 - ・ 家族がいたので助かったが1人だとどうなるか心配、心構えの必要を感じた

■障がい無し

4人の方に回答いただきました

- ① 障がいをお持ちの方のご家族や、介助者の方のご意見ご感想、困ったことなどをお書きください。
 - ・ 職場の介護施設に ALSの方が数名いて、人工呼吸器の方もいます。停電により、他の病院に避難されましたが、バッテリーのことなど、ご本人は不安だと思っています。
 - ・ 食材が確保できないので、厨房が機能しない事態になりました。弁当業者が見つかりましたが、見つからなかったらと思うと恐ろしいです。

■ヘルプマーク、カードについてのご意見が多数、寄せられました

- ・ヘルプカードをカバンの中に入れていても周囲に気付いて貰えない
- ・ヘルプマークにポケットが付いていれば、ヘルプカードを入れることで便利なので改良して欲しい
- ・ヘルプカードに、薬局のお薬シールを貼る
- ・感覚過敏マーク、ワーフアリン手帳、など別のものに、緊急連絡先などを書いて持ち歩いている
- ・ヘルプカードが小さいので、ダウンロードしたヘルプカードを使っている（小さすぎて見えな—い！笑）



貴重なご意見をたくさんお寄せいただきました事に感謝いたします。

またすべてのご意見、ご感想をお載せ出来なかったことをお詫び申し上げます。ご協力ありがとうございました。

地震体験談

佐々木 正好さん

[すぶりんぐの哲さんへ]

日本への関心は世界で注目され超高齢化社会で特に障害者が虐待されていないかが研究者の課題です。

私も国内外の方から取材を受けますが多分障害者運動に当事者ながら高校生から関わり個性を大切にしないとアカンと思っていたのでしょ。

新聞の読みかたの基本は下記のコラムです。

先日の沖縄知事選の報道では新知事の道新のコラムを何度も読んだが涙の連続です。参考として是非案内しこの記事がパンフとか書籍に成るときは掲載して頂きたい。

私はゴルフの経験はない。歩くのが夢で遊びで歩いた事が無いのです。

胆振東部地震発生から1ヵ月に成る。9月30日は日中の震度4でこんなに揺れるのかを観察したが時間を長く感じた。昨日は余震で2度も東区では震度3が観測された。

私は両下肢身障者2級です。台風21号では妻が楽しみにしている作物の棚が全て倒れやっと立て直しを終えた翌日に再度倒れた。9月6日の早朝は何が起きたのか状況把握出来なく2階で寝ているのでゆっくり居間に降りたら本棚が倒れ書籍と資料が散乱し写真額縁のガラスで足の踏み場がなくしばらく呆然とし、どこから手をつけるか迷い整理する気力が無く取りあえず携帯ラジオに集中し外の様子を見にい

くと近所の交差点信号は停止し交通信号機は全て停止していると想定したが近くの札幌新道は間引きで機能している。停止基準の根拠はと疑問を持つのが車の運行は皆無に近い状態で有る。夜に成ると初のブラックアウト(全道で停電)で街灯も信号機も停電で真っ暗に成り隣近所は乾電池の電燈がカーテン越しに感じる。

私は年金生活になってから徹底した節約で普段からキャンプ生活で室内の電灯は付けなくいつも手元のスタンド電灯でトイレに行く時は懐中電灯で懐けているので今回はリサイクルショップで購入した大型の鏡に懐中電灯の光を写し効果は絶大で有った。以前からTVに関心は無く携帯も無いので日常は携帯ラジオと新聞、ネットニュース生活なので私が頼ったのはNHKラジオでした。



今回の教訓は企業・行政も同じで有ろうがネットが停電で全てが遮断され全国の情報基地拠点右狩地区に誘致されている全てのネットワークが遮断されて全国的に企業誘致の模範である脆弱さが明確に成った。

あらゆるコールセンターが停止に成り情報発信の札幌市のHPも停止し情報更新が不能に成り危機管理が表面化した。

皆が携帯を持っている「神話」が前提でまさかの時は機能しない事を情報弱者の当事者として実感した。

行政の下請け化で職員の後継者養成の未熟の不安が的中した。情報弱者にどう対応するのか何故に「福祉避難所」を事前に公開しない弱者への対応を求める。停電理由の説明といつ回復するかの情報を得る手段がなく札幌市公式緊急HPの医療機関の内容が現実と乖離していた。被害の事実を公表しないで観光客集めが主題では本末転倒で有り危機管理のポイントをそらすと不安に成る。

皆さんが声なき意見は当事者でなければ発信出来ません。

もう少しですが生きています限り頑張ります。

◆鈴木 昭子さん

[胆振東部地震の体験談]

この度の地震で停電の為、情報は唯一乾電池で聞けるラジオと灯りはランタンでした。ラジオで交通網が全面止まっている事を知り出勤するはずだった職場にも行けず携帯電話だけが連絡手段の方法でした。

会社にはずっと連絡を入れ続けましたが繋がらない事がとても困り焦る思いでいっぱいでした。真っ先に思い付いた2人の知人と連絡を取り無事は確認出来ました。

知人のひとは会社から安否メールが来て自宅待機、もう一人の知人はA型作業所で働きながら一人暮らしをしていたので私は実家に向かうように、とアドバイスしま

した。

もし、一人暮らしだったらどこに避難すれば良いのだろう？と不安になりました。

私が住んでいる地区は断水にはならなかったものの、「断水になる」という情報を知り、家中にある鍋、やかん、水筒、お風呂、全てのモノに水を貯め、食品はアウトドア用のクーラーボックスに氷と保冷剤を入れ保存、野菜は全て新聞紙に包んで保管しました。

その間もラジオだけをずっと聞き、携帯の充電を諦めかけた頃、電機関連の仕事をしている義弟が車で充電できる充電器を持ってきてくれて何とか充電する事が出来てとても助かりました。



その後一週間くらい夜中の余震が怖く、生活リズムが狂う程目が覚めて寝られない事もありました。

当たり前ですが生活出来ることの有り難さは電力や交通網が再開した時に強く思いましたが今回の地震で私自身家族で居れた事やガスと水道が使えた事だけが唯一の救いでした。

災害は何時、我が身に降りかかって来るか、分からないです。

備えの重大さと情報を白頃から知る事の大切さをとても痛感し、そんなことを今回の震災から学び、災害への教訓にしたいと思います。

匿名(とくめい)希望(きぼう)さん

【人生初めての出来事】

9月6日(木)午前3:06分就寝中に突然、経験した事がない縦揺れから横揺れに恐怖感を覚え、揺れが収まるまで、布団の中でうずくまっていた。

午前3:20分頃に地震の状況をテレビで観ている途中で停電し、自宅の中は、家財道具や食器が壊れる事はありませんでしたが、食器棚がくの字に曲がり、洗面場にあるプラスチック棚は斜めに傾き、洗濯用の液体洗剤が何個か床に落ちていた程度で済みました。姉の指示で近くにあった懐中電灯をつけてガスの元栓を閉め、水道の蛇口をひねると水が出た為、断水になる前にペットボトルに水を汲み、乾電池式ラジオをつけて情報収集、その後通電火災が起きないように、ブレーカーを切りました。

夜が明けると、外に出て自宅アパート周辺の状況を見渡すと、真下に地下鉄が通る幹線道路は陥没し、11日間にわたって自宅アパート周辺の道路以外は通行止めが続いていました。

早朝に会社と連絡が取れて安堵しましたが、2日間自宅待機し土日含めて4日間休日になり今後も一般企業の障害者雇用枠で職場定着ができるか、今でも不安の種は消えません…。

幸い、コンビニやスーパーが何軒か自宅アパート周辺にあった為、買い物に困る事はありませんでしたが、単3電池がどこのお店も売り切れていたの、車や自転車があればホームセンター等で、足りないものを買えたかも？と思うと、停電中をどう乗り切ればよいか本当に不安でした。しかも、地震直後に私のiPhoneの残量が20%、地震当日の夜にiPhoneの電池が切れてしまい、SNSで色々な方とのやりとりができなくなり、電気が復旧しないまま、一夜を過ごしました。因みにカセットコンロとカセットボンベが無かった為、冷蔵庫の中の食材は全て廃棄処分。

翌日、早朝からタクシーに乗って親宅へ行き、近くのコンビニで食料調達中に姉から電話発信の際に親宅周辺は既に電気は復旧し、水道やガスは地震直後から使えたと思う。私の憶測では、地震当日の夕方夜頃に親宅周辺の電気は復旧していたのでは？と想像し、後はテレビでライフラインや交通情報を観ながら、自宅アパートに戻る手段を探していました。因みに自宅アパートのお隣さんから、7日の早朝に電気が復旧したと、姉のスマートフォンに着信があったので、家族全員一安心しました。



その日の午後に地下鉄が復旧したとの情報が入り、最寄の地下鉄駅まで歩いたが、地下鉄出入口のシャッターが閉まっており、別の地下鉄出入口の階段から降りると、タイミング良く地下鉄の運行再開のアナウンスが流れたので、速攻地下鉄に乗って、無事に自宅アパートに戻れました。

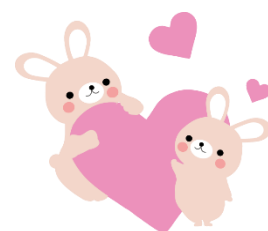
7日の夜以降、北海道内がブラックアウト(大停電)から徐々に電気が復旧し、突然親戚から親の携帯電話に「大丈夫か？」と、着信があったので、親は「電気以外は水道もガスもついていたので大丈夫！」と、気丈に振る舞っていたが、内心は怖かったと思う。しかも、震度6弱の地震は「人生初めての出来事」でした。あれから1ヵ月以上が経ち、お店も地震前と同様に商品が揃え始めており、いまだに余震が続く恐怖と不安を抱えながら、日常生活を過ごしています。

災害時に姉の的確な指示がなかったら、私自身何もできなかった。むしろ途方に暮れていた。自宅アパートに懐中電灯3台と乾電池式ラジオが2台ある事も水道やガスが出る事等も含めて、改めて姉に感謝です。

失礼な発言かも知れませんが、不幸中の幸い季節が冬場でなくて良かった気がします…。

すぶりんぐ会員の皆さま、余震が続いております。今まで通り穏やかなにお過ごしください。また、被災地周辺では、今も避難所で生活されている方々がいらっやると思います。心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興をお祈りいたします。



松田 靖子さん

[ぼうさいくんれんにさんかして]

わたしは、9月3日げつようびに、かがくだいがくでぼうさいくんれんがあったのでじりつしえんきょうぎかいのせいしんしょうがいしゃのひとと、ちてきしょうがいしゃのなんにんかと、おやと、しえんしゃと、しんたいしょうがいしゃのなんにんかとヘルパーさんと13にんでさんかをしましたが、わたしたちのいっぱんのひとたちはかがくだいがくのたいいくかんのいりぐちで、ひなんめいぼをもらってからたいいくかんにはいって、ひなんじょとねぶくろとかんいといれのけんがくをして、おわってからこどもはべつのたいいくかんにいどうをして、こんどはおくすりてちょうのこうえんとふくしひなんじょのこうえんをかりて、わたしたちのいっぱんのぼうさいくんれんがしゅうりょうしたので、そばでじりつしえんきょうぎかいのひとたちとかいさんをしてから、わたしとおかあさんといっしょにたいいくかんでぐちまであるいていってからそとぐつにとりかえをして、ちゅうしゃじょうまであるいてくるまののってかえってきました。

ざんねんなことは、ぼうさいくんれんだといっているのにひとつもたいけんができなかったことと、ちょうかくしょうがいしゃの人や、なんびょうの人たちや、くるまいすのひとたちがさんかしていなかったことです。

またこのようなぼうさいくんれんがあったらさんかしたいです。

青木洋子さんの はっちゃん地震体験漫画

北海道地震と被災したよまゝかい1

北海道地震と被災したよまゝかい2



北海道地震と被災はっちゃん1

の地震当日編 はっちゃん作



北海道地震と被災はっちゃん4

の地震当日編 ☆ はっちゃん作



はっちゃん漫画はまだありますが、紙面の都合上今回は4つご紹介しました。次号でまた掲載予定です。

お知らせ

■ 来年度総会について

日時：4月7日（日）14：00から
場所：社会福祉総合センター4階視聴覚室
（札幌市中央区大通り西19丁目）

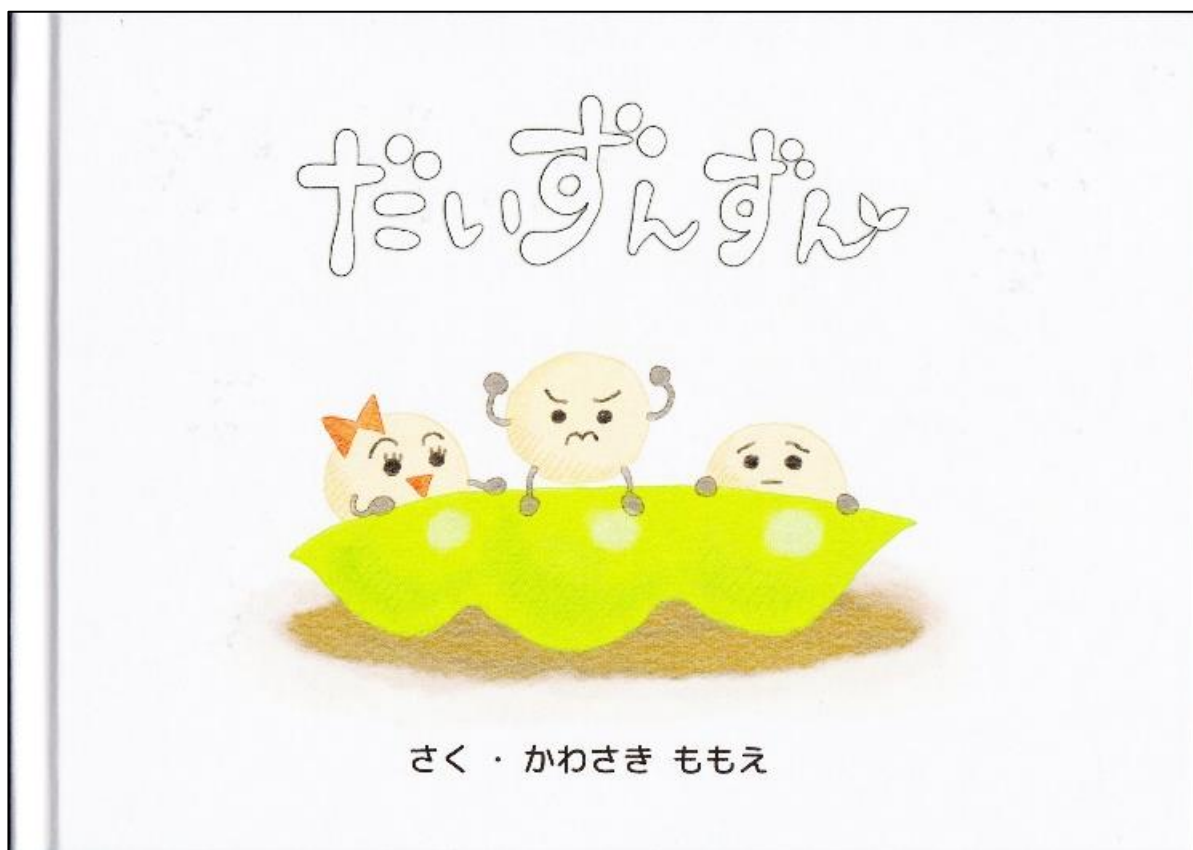
■ すぷりんぐ会員の大海恵聖さんと牧野代表が
「平成30年度北海道男女参画チャレンジ賞 輝く女性チャレンジ賞（個人）」を受賞しました！1月に高橋はるみ北海道知事から表彰状を贈られます

■ 来年度スピーチマラソンは9月21日（土）開催です
社会福祉協議会講師養成講座修了生のPR講演会と一緒に開催予定です

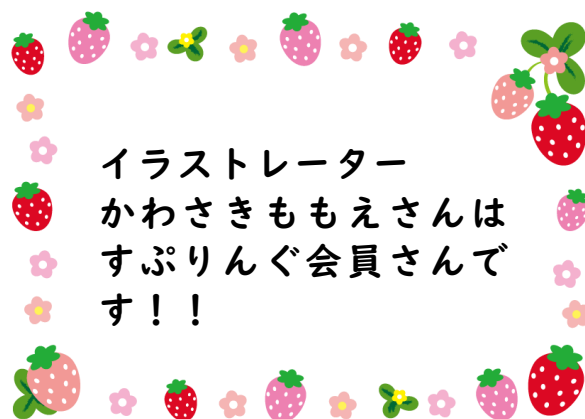
本のご案内

「絵本の歌がたり」の世界に魅せられたひとりの自閉症の青年が発した「動画を YOUTUBU にアップするの！」という言葉。その言葉を叶えるために、母である深宮しのぶ氏が「絵本プロジェクト」を立ちあげた。内容は青年が通う福祉事業所ホワイトキューブで作る豆腐を題材にオリジナルの絵本を作り、それにオリジナルの曲をつけて歌ってもらう「絵本の歌がたり」を元に、青年が動画づくりを行うというもの。

イラストレーター・かわさきももえ氏、作曲家・綾部潤和氏によるオリジナルの絵本×曲。そして青年の動画。青年の「やりたい」がカタチになる。



購入は Amazon (アマゾン) から



《編集後記》

今回はピンチヒッターとして編集させていただきました。アンケート、体験談でのご協力を大変ありがとうございました。情報を共有し、この時に感じたことや学んだことを忘れずに、今後の備えの参考にしていただければと考えます。しばらくは、すぷりんぐの行事もありませんので、ゆっくりクリスマス、年末年始をお楽しみください。(謎のM)

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ事務局

〒063-0604 札幌市西区二十四軒4条3丁目1-12-603 (牧野宅)

TEL 011-895-2585 (寺地) FAX 011-644-0334

■電話での問い合わせは個人宅ですので、常識の範囲内の時間帯にかけることと長電話はご遠慮下さるように、よろしくおねがいいたします。

ホームページ <http://spring-hokkaido.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/spring2013hokkaido>

メールアドレス spring.hokkaido@gmail.com

※新年度、すぷりんぐの活動を手伝って下さる方がいらっしゃいましたら牧野までご連絡下さい。お待ちしております。自宅でパソコン作業の出来る方も助かります。よろしくおねがいいたします。



- 障がい当事者講師の会 すぷりんぐでは、新しい情報も次々更新しておりますので、どうぞご覧ください。(ホームページ・フェイスブック担当 大谷 哲也さん)
- 今年度、ボランティア保険の契約期間が平成31年3月末で終了します。4月からの加入を新たにお願ひします(総会の際に、会費と一緒に300円納めて頂いても構いません。団体で一括して加入いたします。個人で手続きの方は、各自ボランティア活動センターにてお願ひします。すぷりんぐでは会員さんにボランティア保険加入を入会条件として義務づけております。ご理解下さい。
- 今後、パソコンのメールアドレスをお持ちの方で特にご要望がない方には、メールにて会報やご案内を送付させていただきます。経費の都合上ご理解ください。(どうしても紙面でなくてはいけない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください)

